

## 成績表に表示されているGPAの見方について

作新学院大学では、成績表に GPA (Grade Point Average) の表示をしています。これは、学生一人ひとりの成績を以下に示す規則に沿ってスコア化するものです。本学ではこのスコアを履修指導の資料のほか、成績優秀者の表彰などの資料として利用しています。

### GPA 制度

GPA は次のようにして求めます。

最初に、下の表に従って、各科目の成績に応じたグレードポイント (Grade Point : 以下「GP」という) を出します。

成 績	GP
秀	4
優	3
良	2
可	1
不可 (無資格・試験欠席を含む)	0

そして、各科目の単位数を掛けて足した合計点を履修登録単位の総数で割ったものが GPA です。具体的には、下のようになります。

[例]	授 業 科 目	(単位数)	評 価	GP	単 位	ポ イ ン ト 数
	基礎ゼミナール1	(2 単位)	優	3	× 2	= 6
	英語 A 1	(1 単位)	良	2	× 1	= 2
	英語 B 1	(1 単位)	秀	4	× 1	= 4
	コンピュータリテラシー1	(2 単位)	不可	0	× 2	= 0
	合 計	6 単位 <sup>①</sup>				12 <sup>②</sup>

$$\text{GPA} = \text{②} \div \text{①} = 12 \div 6 = \underline{2.0}$$

したがって、履修した全ての科目が「秀」の人の GPA は 4 ですし、履修した全ての科目が「不可」だった場合の GPA は 0 です。(※平成 21 年度以前入学者は「優」が最高評価なので、GPA の最大値は 3 となります。)

なお、GPA には平均をとる期間により、「学期 GPA」(当該学期の成績で計算した GPA)、  
「通算 GPA」(当該学期までの全成績で計算した GPA) の 2 種類があります。また、「不可」も GP=0 として算入されることに注意してください。

## GPAの対象となる科目

原則として、履修した全ての科目が対象です。しかし、次の1、2の授業科目は対象になりません。

1. 他大学との連携や交流などで、評点を付さずに「合・不合」等で評価する科目
2. 編入学した際の単位認定科目、本学入学前に修得した単位認定科目で、評点を付さずに「合・不合」等で評価されている科目

## GPAの見方

GPAは学習の質を示すわかりやすい指標で、学習状況の把握が簡単にできます。

たとえば、GPAが2より低い場合には、それぞれの科目で期待されている達成度より低い状態の科目が多いことを示しており、自覚が必要です。また、前の学期より、学期GPAが低くなっていれば、学習上何らかの問題が生じているのかもしれませんが、このように、GPAは学習状況を把握し、学習計画を立てるのに利用できます。みなさんに配布される成績表には、「学期GPA」や「通算GPA」が示されます。自主的、意欲的な履修計画に利用してください。

## 本学におけるGPAの利用方法

本学では、以下の目的でGPAを利用しています。

- ・履修指導の資料
- ・学生表彰の資料
- ・留学希望者への対応

## GPA制度に伴う科目履修上の注意

授業科目の履修を途中で「放棄」した場合には、「不可」の評価、すなわち、GP=0となってGPAの値に反映されます。したがって、科目選択はシラバスの内容をよく確認し、慎重に行わなければなりません。ただし、授業内容が想定していたものと異なっていたり、履修上必要な知識が不足していたりして、履修を取りやめたいときには、履修訂正期間が終わるまでに変更手続きをしてください。この場合は、履修放棄とは見なされず、従ってGPAの値には反映されません。

## 個別成績表、成績証明書の記載内容について

個別成績表には、「不可」になった科目も含め、全ての学修履歴が記載されます。たとえば、1年生の前期に「不可」で、2年生の前期に「優」を取った科目があった場合、1年前期に「不可」だったということと、2年前期に「優」だったということの両方が記載されます。また、「学期GPA」、「通算GPA」が示されます。

成績証明書には、合格となった科目の成績のみが記載されます。